

# 感染症発生状況

令和5年7月19日

各保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

令和5年7月10日（月）～7月14日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は2,690名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】482名 【職員】6名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】96名

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】症状別：熱（271名）、咳・鼻水（99名）、下痢・腹痛（21名）、発疹（11名）

疾病別：ヘルパンギーナ（41名）、手足口病（32名）、気管支炎・肺炎（20名）、  
胃腸炎（20名）

【職員】症状別：熱（2名）、咳・鼻水（1名）

疾患別：なし

**ヘルパンギーナを含めた夏風邪流行が増大し続けています。**

**皆様、引き続き、感染防御策（3密回避、手洗い、うがい）を続行お願いします。**

## 【症状別の発生状況】

ヘルパンギーナ 玉山地区、都南地区で増加しました。河北地区、河南地区で減少しました。

手足口病 河北地区、盛南地区、河南地区で増加しました。

気管支炎・肺炎 盛南地区で増加しました。

玉山地区、厨川地区、河北地区、河南地区、都南地区で減少しました。

胃腸炎 河北地区、盛南地区で増加しました。河南地区、都南地区で減少しました。

## 【県の状況（7/3～7/9）】

ヘルパンギーナは8週連続で増加し、県内の定点あたり患者数は警報値の6人を超え14.70人となりました。釜石及び久慈を除く全ての地区で警報値を超えています。本症は乳幼児を中心に夏季に流行するウイルス性の疾患で、発熱とどの痛み、口内に現れる水疱性発疹を主症状とします。口内の発疹により水分を摂取しにくくなるので脱水に注意が必要です。予防には患者との濃厚接触を避け、手洗いやうがいを励行することが重要です。

手足口病は増加し、一関地区で報告数が警報値（定点あたり患者数5人）を超えています。口内や手足に現れる水疱性発疹が主症状の乳幼児を中心に夏季に流行する感染症です。まれに髄膜炎等を併発することがあり、高熱や嘔吐等がある場合は速やかに受診してください。予防にはヘルパンギーナと同様の対策が必要です。

新型コロナウイルス感染症は増加し、定点あたり患者数は6.73人となりました。県内でのクラスターの発生は6件でした。引き続き、手洗い・咳エチケット等基本的な感染予防対策の確認を行いましょう。

## ◆岩手県新型コロナウイルス感染症関連情報

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryuu/covid19/index.html>

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話613-8347（ダイヤルイン）ファックス652-3424】